

公表資料

平成26年度補助金見直し結果

平成26年度補助金の見直し結果

企画部

No.1	課名	自治振興課	補助金名称	自治委員地区運営費助成金	
自己評価	継続	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)
継続			725	725	0
最終評価	評価内容				
継続	平成24年度の最終評価による指摘から、交付要綱の制定、地区毎の収支報告書の提出など一定の改善は見られたが、今後も担当課による収支報告書の精査等、更なる事務の改善を図られたい。				
取組内容の進捗状況					
<ul style="list-style-type: none"> 地区ごとの収支報告書の提出は定着してきている。 収支報告書によると、「地区における自治委員活動の円滑な遂行のため支給する。」という目的には概ね適っている。 					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.2	課名	自治振興課	補助金名称	自治委員会運営費助成金	
自己評価	継続	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)
継続			1,590	1,590	0
最終評価	評価内容				
継続	自治委員への依頼事務が全庁的に行われ、自治委員会の運営によってその処理がなされている点は考慮する必要があると思われるが、今後は対象経費の精査を含め補助金等交付指針にそった事務の改善を図られたい。				
取組内容の進捗状況					
<ul style="list-style-type: none"> 現状が妥当と考えるが、対象経費の精査は今後も継続する。 					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.3	課名	自治振興課	補助金名称	協働推進事業費補助金	
自己評価	継続	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)
継続			7,200	7,200	0
最終評価	評価内容				
継続	担当課による事業の課題の洗い出し及び方向性の検討が行なわれている。現状は協議会方式による執行形態を維持し、事業指針の策定をもって判断する。				
取組内容の進捗状況					
<ul style="list-style-type: none"> 前年度に募集、申請、審査等を行い、補助決定事業の実施期間が1年間(4月～3月)となるよう検討している。 市民提案型協働事業については、市民から提案された事業を行政関係課と協働して行うものに補助するような要件に変更を検討している。行政提案型事業については、平成28年度以降のテーマについて各課から提案を募集し、事業を継続する。 					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

平成26年度補助金の見直し結果

企画部

No.4	課名	危機管理課	補助金名称	別府市交通安全対策協議会補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		360	360	0	
最終評価	評価内容				
改善	補助対象経費の大半が事務的経費であるが、市に事務局が設置され、総会も開催されていない等、組織運営についての見直しが必要と考えられる。 県内の他市町村の状況も踏まえ、今後の協議会のあり方について検討されたい。				
取組内容の進捗状況					
重要な安全に係る課題、特に高齢者の死亡事故、自動車の交通安全対策及びいまだ根絶されない飲酒運転の問題に積極的に取り組むために、高齢者交通安全部会及び自転車交通安全部会の設置等新たな下部組織の設置の協議並びに会員の削減、または予算の見直し(増額要求)等、今後の組織運営の方向性を平成27年度以降の幹事会及び協議会(総会)にて会員に諮りたい。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.5	課名	危機管理課	補助金名称	大分県交通安全協会別府支部補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		4,206	4,301	▲ 95	
最終評価	評価内容				
継続	平成24年度の補助金見直しにより、新たに設立されたもので補助率、対象経費ともに明確であり継続とするが、事業の公益性確認のため、適切な報告書の提出を求められたい。				
取組内容の進捗状況					
平成24年度の補助金見直しにより、補助率・補助対象経費を明確にしたが、平成26年度からはそれに伴う交通安全推進の効果を確認するため、活動実績なども補助金の実績報告として提出するよう相手に依頼した。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.6	課名	観光課	補助金名称	別府市観光協会運営費補助金	
自己評価	改善	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)
			24,600	24,600	0
最終評価	評価内容				
改善	繰越金の処理については、翌年度減額交付を行う等改善が見受けられた。引き続き団体に対し、自主財源の確保や支出の効率化を促されたい。				
取組内容の進捗状況					
更なる自主財源の確保や支出の効率化を補助団体に促し、収支の状況を確認しながら補助額を検討したい。なお、今後自主財源比率を増加させるための物販、旅行業の販売強化を図るとともに、経費削減などに取組み、自主財源の獲得を目指す予定である。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.7	課名	観光課	補助金名称	ボランティアガイド育成事業費補助金	
自己評価	改善	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)
			900	900	0
最終評価	評価内容				
改善	繰越金の処理については、返還処理がなされており改善が見受けられた。事務処理の改善による効率化及び対象経費の精査を行うことにより適正な補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
平成25年度から「ボランティア養成講座」の見直しを図り、各地域のまちあるき団体でボランティアガイド養成講座を実施することで、より効果的な新規ガイド獲得を目指す内容となった。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.8	課名	観光課	補助金名称	別府八湯温泉まつり事業費補助金	
自己評価	改善	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)
			13,237	16,637	▲ 3,400
最終評価	評価内容				
改善	補助対象経費の精査を行い、適正な繰越金処理を行われたい。				
取組内容の進捗状況					
今後も補助を継続する方針であるが、平成27年度予算では、温泉まつり期間中に選考される「ミス別府」に係る経費を温泉まつり予算から外し、目的に沿った適切な予算執行ができるよう見直しを図った。また、平成26年度の100周年記念行事分の予算についても減額となっている。今後も補助対象経費の精査を行うとともに、支出の効率化を促し、収支の状況を確認しながら補助額を検討していきたい。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.9	課名	観光課	補助金名称	千灯明事業費補助金	
自己評価	改善	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)
			4,300	4,300	0
最終評価	評価内容				
改善	来場客数は伸びており、市民交流の場としてのイベントとして定着してきているが、補助割合が高いため、積極的な自主財源の確保に努められたい。				
取組内容の進捗状況					
平成25年度は来場者が約2万7千人となり別府市の秋の風物詩として定着している。観光客をより集客できるイベントとするため、スタンプラリーや他団体と連携した新しいイベント内容の見直しを進めている。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.10	課名	観光課	補助金名称	別府夏の宵まつり事業費補助金	
自己評価	改善	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)
			12,500	12,000	500
最終評価	評価内容				
改善	繰越金については、翌年度減額交付する等改善していたが、補助対象経費については、減少を続けている来場者数の現状から事業効果に沿った適正な補助金額の積算を行われたい。				
取組内容の進捗状況					
別府の夏を代表する祭りであり、市民交流、観光客誘致を目的として開催されているため、今後も補助を継続する方針であるが、補助対象経費の精査を行うとともに、支出の効率化を促し、収支の状況を確認しながら補助額を検討していきたい。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.11	課名	観光課	補助金名称	クリスマスHANABIファンタジア事業費補助金	
自己評価	改善	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)
			15,000	15,000	0
最終評価	評価内容				
改善	20万人規模を集客するイベントとして定着しており、事業効果が大きいと認められるが、補助額が固定化しているため、繰越金の状況等を考慮し適正な補助金額の積算を行われたい。				
取組内容の進捗状況					
別府の冬のイベントとして定着しており、県内外からの比較的若い世代を中心とした集客が見込めるため、今後も補助を継続する方針であるが、補助額が固定化されているため、補助対象経費の精査を行うとともに、収支の状況を確認しながら補助額を検討していきたい。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.12	課名	観光課	補助金名称	別府市民の船事業費負担金		
自己評価	改善	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
			1,340	1,920	▲ 580	
最終評価	評価内容					
改善	繰越金については、適正に処理が行われており、個人への協議会負担金についても、段階的に減額が行われている。引続き個人負担のあり方を見直し、目的に沿った事業展開を行うことで関西からの来別者数の増加を図りたい。					
取組内容の進捗状況						
訪問地との市民相互交流及び観光客誘致事業として今後も負担金を継続する方針である。平成26年度からは、参加者に対する旅費の助成金額の見直しを図り、前年の11,000円から5,000円に減額した。事業の目的をより達成することができる事業内容とするため、訪問地先と協議するとともに、平成26年度は「大阪住之江区民の船」「奈良市民の船」の受入についても実施した。						
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等						
No.13	課名	観光課	補助金名称	別府市旅館ホテル組合連合会運営費補助金		
自己評価	改善	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
			6,900	6,900	0	
最終評価	評価内容					
改善	補助対象経費について対象経費の仕訳を行っているが、運営費補助から事業費補助への移行を図り、適正な補助金額の積算を行われたい。					
取組内容の進捗状況						
市内100以上の旅館ホテルを統括する本組合は、市の観光施策との関わりが強く、市の事務事業を補完する一面もあることから、今後も補助を継続していく方針であるが、補助対象経費を明確にした事業補助への移行を団体に促した。また、補助対象経費の精査を行うとともに、支出の効率化を補助団体に促し、収支の状況を確認しながら補助額を検討したい。						
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等						
No.14	課名	文化国際課	補助金名称	別府八湯日韓次世代映画祭実行委員会補助金		
自己評価	廃止	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
			0	1,000	▲ 1,000	
最終評価	評価内容					
廃止	市民を含む入場者の減少や効果的な交流が図れない等の理由により廃止とする。					
取組内容の進捗状況						
平成26年度をもって補助金を廃止とする。						
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等						

No.15	課名	文化国際課	補助金名称	市美展補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		315	315	0	
最終評価	評価内容				
継続	平成24年度評価に対する見直しの取り組みにおいて、出展者の増加による収入の増加及び補助対象経費の明確化及び事業費の1/3の補助等の改善が行われている。				
取組内容の進捗状況					
補助対象経費の明確化を図り、補助対象経費の1/3以内を補助額とするようにしている。それに伴い、自主財源増収のため、出品者(数)を増やす方を講じるよう補助金の交付先に指導している。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.16	課名	文化国際課	補助金名称	別府市市民交響楽団事業費補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
縮小		1,700	2,000	▲ 300	
最終評価	評価内容				
縮小	平成24年度評価に対する見直しの取り組みどおり、平成27年度での廃止に向けて、自主財源の確保と事業費の見直しによる団体の自主・自立を図りたい。				
取組内容の進捗状況					
平成25年度から補助金額を15%程度ずつ減額していき、平成28年度以降の補助金は廃止する方向で交付先に通達しているが、今後、年2回の演奏会で来客数の大幅な増加が見られた場合は、存続を検討する余地があると考えられる。自主財源の確保に対する検討策や事業費の見直し等検討するよう指導している。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
別府の未来の子ども達のための地区公民館での音楽教室の開催や市民・観光客への別府駅でのコンサートの開催など、楽団メンバーの別府市に対する文化の向上へ貢献したいという意識は高いものがある。自主財源の確保に対する取り組みの評価と今後も低額で管弦楽器の演奏を体験できる機会を創出する楽団の取り組みは、今後別府市の文化的価値の増進の観点から行政からの支援は必要であると考えている。					
No.17	課名	文化国際課	補助金名称	文化活動育成補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		1,500	1,800	▲ 300	
最終評価	評価内容				
継続	平成24年度の評価に対し、要綱及び対象団体の見直しにより予算額の縮小を行う等改善が認められるが、予算額と決算額との乖離が大きいため、適正な補助金額の積算を行いたい。				
取組内容の進捗状況					
平成26年度から別府市文化活動育成事業補助金交付要綱の一部改正をして、「別府市文化活動育成・奨励事業補助金交付要綱」に改め、会費を徴収していない文化団体も申請できるよう文化活動育成に対する門戸を拡大し、市内の潜在団体への周知を含め積極的に活動するよう促している。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.18	課名	商工課	補助金名称	別府商工会議所補助金	
自己評価	継続	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)
継続			8,000	8,000	0
最終評価	評価内容				
継続	補助対象経費を運営費補助から事業費補助の1/2以内に見直しが行われており、引き続き補助対象経費の精査を行い適正な補助金額の積算を行われたい。				
取組内容の進捗状況					
商工会議所との協議により、経営講演会補助金や景気動向調査負担金については、平成25年度より廃止した。また、前回の評価結果を踏まえて補助対象経費と補助の基準を設けた事業補助を平成25年度より実施している。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.19	課名	商工課	補助金名称	別府たばこ販売協同組合補助金	
自己評価	継続	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)
継続			630	630	0
最終評価	評価内容				
改善	平成26年度から補助金交付用要綱を制定し、補助対象経費を明確化しているが、公益性等の観点から対象経費の精査及び適正な補助金額の積算に努められたい。				
取組内容の進捗状況					
公益性等の観点から対象経費の見直しを行った。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
平成26年度より「別府市たばこ販売協同組合補助金交付要綱」を制定しており、当該規定に沿った適正な補助金の積算に努めたい。					
No.20	課名	商工課	補助金名称	商店街公共施設部分維持管理費補助金	
自己評価	廃止	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)
廃止			0	158	▲158
最終評価	評価内容				
廃止	事業の必要性から判断して廃止とする。関係団体と調整し、早期に予算において反映されたい。				
取組内容の進捗状況					
対象商店街等と協議を重ねることにより、別府銀座商店街と別府楠銀天街については、平成25年度より事業廃止し、別府やよい商店街については平成26年度より事業廃止した。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.21	課名	商工課	補助金名称	小規模企業経営改善普及事業費補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		5,400	5,400	0	
最終評価	評価内容				
改善	県補助の対象となる経費の商工会議所負担分の1/2を市が補助しているが、さらに県補助対象外の管理費等の経費の1/4についても市が補助しているため、対象外経費に対する補助の見直しを検討されたい。				
取組内容の進捗状況					
別府商工会議所補助金と並行して、県を参考とした補助割合の基準を設定して、平成25年度より助成している。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
別府商工会議所とは、他の補助金も対象に協議を重ねて見直しに取り組んでいる。今後とも協議を重ねていきたい。					
No.22	課名	商工課	補助金名称	商店街駐車場補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
廃止		0	2,850	▲ 2,850	
最終評価	評価内容				
廃止	事業の公益性から判断して廃止とする。関係団体と調整し早期の予算において反映されたい。				
取組内容の進捗状況					
対象商店街等との評議により、一年の経過措置期間を経て平成26年度で廃止する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.23	課名	商工課	補助金名称	中心市街地活性化協議会補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		5,350	6,967	▲ 1,617	
最終評価	評価内容				
廃止	空き店舗を借り上げたプラットフォーム7箇所のうち2箇所を廃止したが、終了した基本計画の検証結果に基づき、残り5箇所についても原則として廃止が適当であり、早急に新たな計画を策定されたい。				
取組内容の進捗状況					
平成24年度より中心市街地活性化協議会の作業部会を設けて、リノベーション事業(platform)の活用状況の検証を重ねている。協議会の継続は必要であるが、リノベーション事業については、その利用状況により継続・廃止の検討を行う。 また、基本計画実施に関する検証最終報告書によりエリアマネジメントの仕組みを構築する必要性が総括として述べられている。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
中心市街地活性化協議会の作業部会による活用状況評価により、5箇所のplatformを運営しているが、平成27年度より取り組むエリアマネジメントと共に検証を重ねていきたい。					

No.24	課名	競輪事業課	補助金名称	周辺対策事業補助金	
自己評価	継続	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)
継続			6,300	6,300	0
最終評価	評価内容				
改善	平成24年度の評価結果に対する具体的な取り組みがないため、早急に改善に取り組まれない。事業内容や補助対象経費、補助団体の収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
亀川夏まつりの収支状況、補助金が占める事業費の割合、主催者の今後の意向を把握し、補助金額を検討中。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
亀川夏まつりの収支状況を確認すると、当該補助金が事業費の約66%を占めており、補助金の縮小が亀川夏まつりの規模の縮小に直結することと、平成26年度は雨天開催のため来場者は減少したものの例年増えている状況のため、今後の動向を見ながら検討したい。					
No.25	課名	農林水産課	補助金名称	農業青年開発グループ活動補助金	
自己評価	継続	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)
継続			25	25	0
最終評価	評価内容				
継続	農業後継者が減少傾向にある中、農業後継者の育成・確保、農業を担う団体への支援は必要と判断できるため継続とするが、今後も有効性を継続的に検証されたい。				
取組内容の進捗状況					
新規就農者の育成・指導や大分県農林水産祭への参加など各種行事への参加、東山小中学校の農作業体験の支援など農業後継者組織としての活動を行った。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.26	課名	農林水産課	補助金名称	有害鳥獣被害防止対策事業費補助金	
自己評価	継続	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)
継続			1,400	1,575	▲175
最終評価	評価内容				
継続	農林作物の被害を防ぐため継続が妥当であるが、県補助を確実に受けられるような事務執行及び市が単独で補助しているサル対策分について県及び関係機関の協力を求められたい。				
取組内容の進捗状況					
県補助対象となるものは追加要望を行って補助を受けることができた。また市が単独で補助しているサル対策分について、引き続き県等へ協力を求めている。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.27	課名	農林水産課	補助金名称	経営所得安定対策直接支払推進事業費補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		2,821	2,140	681	
最終評価	評価内容				
継続	国が実施する事業(10/10補助)であり、国の施策が続く間は継続とする。				
取組内容の進捗状況					
水田のフル活用を推進し、食料自給率・自給力の向上を図るため、経営所得安定対策直接支払推進事業の交付申請・確認事務等を実施した。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.28	課名	農林水産課	補助金名称	農道及びかんがい用施設改修事業費補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		750	750	0	
最終評価	評価内容				
継続	農業関係者自らが実施する農業用施設の新設、改修、災害復旧等の事業を実施するにあたり、実施者負担を軽減し農業生産の減産防止、農業経営の合理化、農地保全等を図るため継続するとした自己評価のとおり継続とする。				
取組内容の進捗状況					
農業関係者自らが実施する農業用施設の新設、改修、災害復旧等の事業の補助を実施した。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.29	課名	農林水産課	補助金名称	別府市農業振興対策協議会負担金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		4,000	4,000	0	
最終評価	評価内容				
改善	平成25年度の評価で指摘された補助対象経費の明確化については整理されているものの、補助先の団体の実績報告書に一部不備があるため、団体に対し改善指導をされたい。				
取組内容の進捗状況					
平成25年度事業について補助対象経費を整理、平成26年度総会において規約を改正し補助対象事業を整備した。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.30	課名	農林水産課	補助金名称	特用林産振興事業費補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		0	1,170	▲ 1,170	
最終評価	評価内容				
継続	平成25年度から制度開始となった当該補助金については、2年経過しなければ実質的な効果を測定できないため継続とするが、県補助の継続を条件とする。				
取組内容の進捗状況					
今年度から国が実施する事業に同様の補助事業(原木しいたけ再生回復緊急対策事業)が設けられたため、今年度は国の補助事業を活用することとした。来年度以降も県補助の状況を見ながら事業実施を検討する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.31	課名	農林水産課	補助金名称	漁業振興費補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		76	76	0	
最終評価	評価内容				
改善	平成24年度の監査指摘により収支決算書の記載内容について団体を指導したとのことだが、依然として実績報告の内容が概括的であり、補助対象経費が不明確である。引き続き団体に対し指導を行われたい。				
取組内容の進捗状況					
収支決算書の記載内容が抽象的であるため、補助対象経費を把握できるよう支出項目ごとにおいて内容を記載するよう引き続き指導する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.32	課名	農林水産課	補助金名称	大分県漁業協同組合青年部別府支部活動補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		25	25	0	
最終評価	評価内容				
継続	繰越金について改善が図られたが、少額補助であることから有効性について継続的に検証された。				
取組内容の進捗状況					
亀川小学校・幼稚園との連携によりマコガレイ放流、サメ防止網設置撤去(関の江海岸)、漁民の森の下草刈り等を行い、漁業振興に寄与した。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.33	課名	農林水産課	補助金名称	栽培漁業推進事業費補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		1,500	1,500	0	
最終評価	評価内容				
継続	漁獲量増加等の事業の効果、有効性について継続的に検証されたい。				
取組内容の進捗状況					
クルマエビ、マコガレイ、ヒラメ等を中間育成し、漁獲量の増加を図っている。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.34	課名	農林水産課	補助金名称	大分県農林水産祭(水産部門)開催補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		2,000	2,000	0	
最終評価	評価内容				
継続	事業内容、補助対象経費、収支状況等を的確に把握のうえ、引き続き適正な補助金額の積算に努められたい。				
取組内容の進捗状況					
第33回大分県水産振興祭が開催され、来場者数は約4万5千人と多くの来場者が参加した。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.35	課名	農林水産課	補助金名称	沿岸漁業振興特別対策事業費補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		5,514	2,214	3,300	
最終評価	評価内容				
継続	漁業基盤強化のため継続するが、実施にあたっては公益性、必要性を十分に協議されたい。				
取組内容の進捗状況					
今年度は、漁業生産基盤整備事業の流通改善事業としてフォークリフトを購入し、漁港内にける荷物の積み上げ・下ろし等の作業効率の改善を図った。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.36	課名	人権同和教育啓発課	補助金名称	全日本同和会県連合会別府支部補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
縮小		2,580	2,607	▲ 27	
最終評価	評価内容				
縮小	補助団体と協議し、補助金額の縮小を続けられたい。				
取組内容の進捗状況					
同和問題の解決を図るためには、運動団体と連携した取組が必要であり、今後も補助金は縮小しながら継続する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.37	課名	人権同和教育啓発課	補助金名称	部落解放同盟県連合会別府支部補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
縮小		2,580	2,607	▲ 27	
最終評価	評価内容				
縮小	補助団体と協議し、補助金額の縮小を続けられたい。				
取組内容の進捗状況					
同和問題の解決を図るためには、運動団体と連携した取組が必要であり、今後も補助金は縮小しながら継続する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.38	課名	人権同和教育啓発課	補助金名称	別府市人権問題啓発推進協議会補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		3,650	3,650	0	
最終評価	評価内容				
継続	事業内容、補助対象経費、収支状況等を的確に把握のうえ、引き続き適正な補助金額の積算に努められたい。				
取組内容の進捗状況					
人権教育及び人権啓発の推進に関する法律(平成12年法律第147号)により人権教育及び人権啓発は地方公共団体と国民の責務であり、本協議会は市、市議会、自治会、企業、学校および各種団体等が連携して教育・啓発活動を推進する組織として重要な位置を占めるもので、事業内容・補助対象経費・収支状況は適正に処理している。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

平成26年度補助金の見直し結果

福祉保健部

No.39	課名	障害福祉課	補助金名称	別府市身体障害者福祉団体協議会運営費補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		1,035	1,085	▲ 50	
最終評価	評価内容				
改善	平成27年度まで段階的に減額することで団体と合意しているものの、他自治体との比較では依然として高額の補助となっている。会費収入などの自主財源の増収に努めるとともに事業内容の精査を行い段階的に事業費補助への移行を進めるべきである。				
取組内容の進捗状況					
平成25年度から本補助金に全国及び九州の身体障害者福祉大会参加補助金を含めるものとし、その額を平成25年度が1,135千円、平成26年度が1,085千円、平成27年度が1,035千円とすることとした。会費の徴収については、平成25年度より協議会を組織している6団体から10千円ずつ徴収しており、これ以上の増額は現状では困難である。また、事業収入も自動販売機の設置と委託事業と限定されており、今後の事業展開の見込みは低い。今後も協議を重ね、自主財源の増収について検討していく方針である。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.40	課名	児童家庭課	補助金名称	子育て安心住まい改修支援事業費補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
廃止		0	600	▲ 600	
最終評価	評価内容				
廃止	募集戸数も少数のため、廃止とする。				
取組内容の進捗状況					
事業廃止とする。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.41	課名	高齢者福祉課	補助金名称	敬老祝金交付金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		54,900	55,920	▲ 1,020	
最終評価	評価内容				
縮小	老人福祉計画の見直し時に高齢者施策の転換を図り、補助支給基準の縮小を図りたい。				
取組内容の進捗状況					
これまでの敬老祝金を長寿祝金等とし、支給対象の縮小を検討している。またその削減された財源を活用して高齢者のニーズにあった事業についても関係団体等と協議を重ね、またアンケート等を実施しながら検討している。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
代替事業の実施など関係各課と協議しながら、事業縮小に向け検討していきたい。					

No.42	課名	高齢者福祉課	補助金名称	別府市老人クラブ連合会活動費補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		2,521	2,521	0	
最終評価	評価内容				
継続	一人暮らし高齢者等への活動支援として継続が妥当であるが、平成26年度策定予定の補助要綱において補助対象経費を明確にし、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
老人クラブの活性化を図るため別府市老人クラブ連合会と定期的に協議を進めており、魅力ある老人クラブ連合会づくりを目指している。現在老人クラブ数は減少傾向にあるが、老人クラブ連合会主催の行事等は市内のクラブ間の交流が図られ、それは同時に新規クラブが結成し活動していく上での動機付けとなるため、平成27年度においても同額予算を計上している。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
本活動費補助金については老人福祉法第13条第2項に基づく補助であり、国、県、市の支出金により交付されている。さらに、今後市民との協働の観点から、老人クラブを中心とした高齢者の健康づくりが望ましいと考えられるものであるが、その内容を精査し交付について今後も検討していきたい。					
No.43	課名	高齢者福祉課	補助金名称	別府市老人クラブ連合会事業費補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
改善		500	500	0	
最終評価	評価内容				
改善	事業費と団体運営費の混合補助であるが、それぞれの位置付けを明確にし、補助対象経費の精査により必要最小限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
事業費補助金の名称であるが、実質運営費補助金としての性質が強い。実際に事業費を補助している活動費補助金と平行して平成27年度も同額予算を計上している。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
本事業費補助金に関しては、別府市単独の直接補助であるが、上記と同様に老人福祉法第13条第2項によって老人クラブへの支援が市の責務なため、その連合体の存続を支援することは必要となる。金額に関しては、今後の運営を鑑みて、協議のうえ検討していく。					
No.44	課名	高齢者福祉課	補助金名称	別府市単位老人クラブ補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		3,795	4,026	▲ 231	
最終評価	評価内容				
継続	クラブ会員数に応じた補助金額の算定方法に変更したことは一定の効果があったと考えられるが、今後は活動状況に応じた補助金額の積算についても検討されたい。				
取組内容の進捗状況					
補助金交付要綱を平成27年4月1日より施行する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
本活動費補助金については老人福祉法第13条第2項に基づく補助であり、国、県、市の支出金により交付されている。単位クラブの存続自体が困難で解散を余儀なくされているクラブも多いため、地域の連携や高齢者の生きがい作りのためにも会員個人の負担を軽減し、活発に活動を促すために補助金は必要となる。その対象経費等については精査し交付について今後も検討していきたい。					

平成26年度補助金の見直し結果

建設部

No.45	課名	建築指導課	補助金名称	木造住宅耐震診断補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		600	450	150	
最終評価	評価内容				
継続	申請件数は増加傾向にあるが、申請件数自体が少ないため、さらなる広報に努められたい。				
取組内容の進捗状況					
今年度の申請件数は19件であり、毎年申請件数が増加傾向にある。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.46	課名	建築指導課	補助金名称	木造住宅耐震改修補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		9,600	9,000	600	
最終評価	評価内容				
継続	耐震診断とは逆に申請件数が減少傾向にある。耐震診断と同様に耐震改修の必要性を広報する必要がある。				
取組内容の進捗状況					
今年度の申請件数は10件となり、広報と補助率の引き上げ効果が相まって、減少傾向にあった申請件数が増加した。また、補助率の引き上げは平成27年度までであるため、申請件数の増加が見込まれる。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.47	課名	生涯学習課	補助金名称	町内公民館事業費補助金		
自己評価	改善	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
			2,244	2,244	0	
最終評価	評価内容					
廃止	補助団体と協議継続中とのことだが、補助金の使途が明確でなく大部分の町内公民館が多額の繰越金を保有している状況であることから、補助団体の理解を得て予算において反映されたい。					
取組内容の進捗状況						
町内公民館長の8割ほどを自治会長等が兼務しているため、当該補助金を協議するにあたり、自治会の意見を聴取することが不可欠と判断し、自治委員会会長を町内公民館連合会役員との協議に加え、町内公民館事業を自治会事業の中で協議していくことを確認した。						
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等						
136町に対して給付しており、各々自治会の運営事情が異なるため、慎重な対応が必要である。補助金の一本化など代替案を持って協議に臨み、理解を得る必要があると考えている。						
No.48	課名	生涯学習課	補助金名称	町内公民館連合会補助金		
自己評価	改善	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
			30	30	0	
最終評価	評価内容					
廃止	自治会活動と公民館活動の差別化ができておらず、補助額も少額であることから、廃止を検討されたい。					
取組内容の進捗状況						
町内公民館長の8割ほどを自治会長等が兼務しているため、当該補助金を協議するにあたり、自治会の意見を聴取することが不可欠と判断し、自治委員会会長を町内公民館連合会役員との協議に加え、町内公民館事業を自治会事業の中で協議していくことを確認した。						
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等						
町内公民館活動の活性化を図るために町内公民館事業費補助金とセットで協議していく必要がある。						
No.49	課名	生涯学習課	補助金名称	別府市子ども会育成会連合会事業補助金		
自己評価	継続	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
			180	180	0	
最終評価	評価内容					
継続	継続が必要と考えるが、事業内容、補助対象経費、収支状況等を的確に把握し、必要最小限の補助金額を積算されたい。					
取組内容の進捗状況						
平成25年度の決算額を徴した結果、繰越金額が補助金額を下回ったため、前年度と同額とした。平成26年度決算で繰越金が補助金を上回った場合、執行の際調整する。						
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等						

平成26年度補助金の見直し結果

教育委員会

No.50	課名	生涯学習課	補助金名称	別府市PTA連合会事業補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		360	360	0	
最終評価	評価内容				
継続	継続が必要と考えるが、事業内容、補助対象経費、収支状況等を的確に把握し、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
平成25年度の決算額を徴した結果、繰越金額が補助金額を下回ったため、前年度と同額とした。平成26年度決算で繰越金が補助金を上回った場合、執行の際調整する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.51	課名	生涯学習課	補助金名称	東山地区公民館事業費補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		116	116	0	
最終評価	評価内容				
継続	東山地区公民館については生涯学習を推進する事業に対して補助を行っており継続が必要と考えるが、事業の内容等を的確に把握のうえ、適切な補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
事業内容等を的確に把握のうえ、適切な補助金額の積算に努めている。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.52	課名	スポーツ健康課	補助金名称	スポーツ推進委員協議会補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		0	107	▲ 107	
最終評価	評価内容				
改善	公益性は認めるが、運営費と事業費の混合補助であることから、別府市補助金等交付指針のとおり、事業費補助への移行に向けて取り組まされたい。また、繰越金の補助金に対する割合が高いことから、事業内容、収支状況等を的確に把握し、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
平成27年度から補助金を廃止する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					

No.53	課名	スポーツ健康課	補助金名称	別府市体育協会補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		5,250	5,255	▲ 5	
最終評価	評価内容				
継続	繰越金は年々減少してきているものの金額が大きいことから、事業内容、補助対象経費、収支状況等を的確に把握し、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
主催大会運営費補助事業は各部1件程度の開催を目安として40万円の予算を計上していたが、平成27年度からは実績に応じた金額を積算して30万円に削減した。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
今年度の取組により繰越金はさらに減少することが推定されるが、予算の60%を占めている県民体育大会等強化費は、当該大会の出場者の辞退や敗退等によって残額が生じるため、繰越金が生じるのは不可避となっている。					
No.54	課名	スポーツ健康課	補助金名称	地区体育協会補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		2,485	2,485	0	
最終評価	評価内容				
継続	継続が必要と考えるが、事業内容、補助対象経費、収支状況等を的確に把握し、補助金額を精査されたい。				
取組内容の進捗状況					
従前から、年度当初に各地区から提出される前年度の決算書及び本年度の年次計画・収支計画等並びに添付書類により、各地区のスポーツイベントや収支状況の把握・精査を行っており、予算自体は適切に執行されていると判断している。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
決算書の記載事項が地区によってまちまちであったり、抽象的でわかりづらかったりする。これを明確にして透明性を確保する必要があるため、今後、報告書提出様式等について見直したい。					
No.55	課名	スポーツ健康課	補助金名称	別府市中学校体育連盟補助金	
自己評価	予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)	
継続		6,980	6,962	18	
最終評価	評価内容				
継続	継続が必要と考えるが、補助対象経費を的確に把握し、補助金額を精査されたい。				
取組内容の進捗状況					
これまで運営費の中に、県中学校総合体育大会出場費と県駅伝大会出場費を含んでいたが、九州・全国大会出場費に組替えることで、運営に必要な経費と、県・九州・全国出場経費を明確に区別するようにする。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
補助対象経費は可能な限り把握するようにしているが、年により出場人数や開催場所等が変更になる為、過不足が生じるのは不可避となっている。					

No.56	課名	別府商業高等学校	補助金名称	各種大会出場費補助金	
自己評価		予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)
改善			1,100	1,100	0
最終評価	評価内容				
改善	繰越金が補助金額を上回っていることから、事業内容、補助対象経費、収支状況等を的確に把握し、必要最小限の補助金額を積算されたい。				
取組内容の進捗状況					
閉校までの間に各部活動に支障が生じることのないよう、PTA総会后体育文化振興会の補助基準を見直し、出来る限り多くの大会に参加できるように配慮している。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					
No.57	課名	別府商業高等学校	補助金名称	安全・安心な学校部活動支援事業費補助金	
自己評価		予算額	平成27年度(千円)	平成26年度(千円)	増減額(千円)
継続			200	400	▲ 200
最終評価	評価内容				
継続	継続が必要と考えるが、補助対象経費を的確に把握し、補助金額を精査されたい。				
取組内容の進捗状況					
各種大会への遠征を安全に行うために必要として設定したものである。ただし、利用実績については、平成26年度において予算枠を大きく下回る予定である。 平成27年度においてはこれまでの半額となるが、生徒の減少、これまでの利用実績から考えて十分な額であると思料する。					
評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等					